

## 【日南町】

### 1人1台端末の利活用にかかわる計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

Society5.0時代の到来など児童生徒を取り巻く環境が大きく変化する中で、各教科等の指導を通して「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で整理された資質・能力をバランスよく育成し全ての児童生徒の可能性を引き出すために、ICT環境を活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現による教育の質の向上を図る。また、整備したICT環境を活用し質の高い学習活動を実施できる教員の指導力を向上させることで児童生徒に対してより良い教育的効果をもたらすことを目指す。

#### 2. GIGA第1期の総括

1人1台端末の活用と共に、各教室に電子黒板を配置し、小中学校全学年にデジタルドリルを導入、中学校では全学年にAI英会話アプリを導入、教員からの申請による学習に有効なアプリの導入などを進めてきた。また、令和4年度にはネットワークアセスメントを実施し、通信機器の設置場所等の見直しを行い、通信速度の向上を実現した。クラウドを活用した出欠確認やアンケート、家庭用連絡アプリの導入なども進めている。一方、課題として、教員間、学校間のICT活用、ICT活用指導力に差がみられることから、引き続き、情報活用能力等、児童生徒が自ら学ぶための「学び方」を身に付け、発揮できるよう教員の授業観の転換を図る研修の実施や、取組の共有化、外部人材の活用等が必要である。

第1期のネットワークアセスメント等の実施により、通信の改善は図られているが、まだ十分とは言えず、現状の把握や阻害要因の検証を行い、必要に応じて改善を図っていく必要がある。

#### 3. 1人1台端末の利活用方針

児童生徒がこれからの社会に対応する資質・能力を育成するためには、教員1人1人の意識を高め、端末利活用の必要性を認識することが大切である。管理職、情報教育主任を中心に個々の能力に応じた研修を受講することを促し、児童生徒が積極的に1人1台端末を活用した個別学習及び協働学習ができる環境づくりを推進する。また、教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し、教職員間のICT利用率の差をなくすように努める。個別最適・協働的な学びの充実を図るために、「自分の学びをふり返る」「自分の考えをまとめ、発表・

表現する」「児童生徒同士や教員とやりとりする」などという授業場面でクラウドツールを活用することを推進していく。また、児童生徒 1 人 1 人の学習の理解度や進度等に応じた学習機会を保障するために、授業での AI クラウドアプリやデジタルドリル等の積極的な活用を図るとともに、端末を活用した家庭学習を推進する。さらに、家庭学習での端末活用は不登校の児童生徒など、困難を抱える児童生徒に対しても有効な支援となる。これらの方策を実現していくためには、引き続き、端末、電子黒板、デジタルツール等の整備及び高速ネットワーク環境の安定稼働の維持をしていくことが重要である。